

東京都立大学附属高等学校同窓会
2016(平成28)年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2017年1月29日(土) 14時～16時20分
場所 めぐろパーシモンホール1階「YAKUMO111」
出席18名 委任状25名

議案1 2016(平成28)年度上期事業報告(2016. 4. 1～2016. 9. 30)

下記各項目について宍戸理事長より報告し、了承された。

- ① 会報の発行(2016年7月15日発行)
 - 印刷部数 9,000部
 - 発送部数 国内会員8,315部 特別会員(恩師)157部
 - 海外在住会員107部
 - 桜修館教職員・PTA・生徒に配布120部
 - 桜修館同窓会役員へ配布30部
- ② 会報の発送と会費収納代行業者の変更
 - データジ・ジャパン(株)から(有)プリンティングサービスに委託先を変更し、窓アキ封筒の不使用、三つ折りせず、ゆうメールを安く使用などで、部当たりの発送費を安く抑え、また会費収納経費も大幅に圧縮できた。
- ③ 名簿の管理(2016年6月30日現在)
 - 会員総数 14,350名
 - 住所判明者 8,462名(海外在住122名、会報受け取り拒否25名を含む)
 - 死亡 535名、住所不明 5,353名
 - 特別会員(恩師) 297名(死亡58名、住所不明82名を含む)
- ④ 第68回記念祭の取り組み(9月10日、11日)
 - B棟2階201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展(歴史的資料・写真展示、DVD 終日放映など)。
 - 11日13時より合唱イベント「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」実施。
- ⑤ 第4回「八雲が丘賞」
 - 受賞は「美術部」。9月12日(月)、記念祭閉祭式の会場で全校生徒を前に表彰式を行った。詳細は次号会報で特集する。
- ⑥ 八雲が丘学友会
 - 5月28日(土) この回から、桜修館同窓会の伊藤会長が会合に参加。桜修館副校長笠原先生から志波先生に交替、PTA 会長が高島氏から塩田氏に交代。5期生の進学状況、その他。
 - 9月17日(土) 12月11日に桜修館同窓会の設立総会開催予定の報告ほか。
 - 12月17日(土) 桜修館同窓会設立総会報告。桜修館の現況について報告。

学友会の会合前に、桜修館現役自治会役員と懇談。

- ⑦ 桜修館創立10周年記念事業(校舎取り付け校章寄贈)
5月21日(土)正面玄関上、4階外壁にブロンズ製校章レリーフ取り付け。
- ⑧ 会議
5月13日 2015年度会計監査
7月16日 2016年度上期「理事・監事・評議員会議」
9月10日 ホームカミングデー打ち合わせ
- ⑨ その他

議案2 会費納入状況と同窓会の財政

2016年度予算は、会費収入2,000千円(払込1,000人)を収入の柱に、支出は会報発行・発送費1,700千円、ホームカミングデー経費350千円、経常管理費が1,460千円で、約1,500千円の赤字予算となっている。

現在9か月経過したが、推計では収入はほぼ予算通り、会報費は微増、ホームカミングデー費は300千円減(2回実施予定が1回になったことなどによる)、経常管理費が1,000千円の減となっており、予算比1,200千円以上の収支改善となっている。会費収納にかかる支払い手数料が今後発生してくるので、このままの数字にはならないが、赤字幅は圧縮できそうである。

議案3 今後の活動計画

今後の活動について、以下の各項目について検討、確認した。

- ① 会報の発行
2017年6月下旬または7月上旬発行予定。A4判12ページカラー、ほか前回通り。
印刷予定9,000部、配布対象=会員・特別会員約8,800部、
桜修館関係120部、桜修館同窓会30部
- ② 名簿の管理(2017年1月26日現在)
会員総数 会員14,350名、特別会員(恩師)297名
住所判明 会員8,429名(うち受け取り拒否35名、海外在住109名)
特別会員155名
死亡・住所不明 会員5,921名(死亡564名、住所不明5,357名)
特別会員 142名(死亡60名、住所不明82名)
(卒業後母校教師になったため名簿上重複している会員が2名います)
名簿の管理を石川常務理事が担当して以来、住所判明者の増など成果が出ている。会報発行のたびに200~250通の「宛所に尋ね当たらず」が発生し、住所変更届け出との差200名前後が住所不明者に繰り入れられていたが、今回は住所不明がほとんど増えていない。
- ③ 第69回記念祭への参加、出展計画
前回同様B棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展し、資料・写真

の展示、DVD の放映を行う。

「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」合唱イベントも前回同様実施予定。

都大附高時代の資料、写真が少ないので、収集に努めたい。

④ 第5回「八雲が丘賞」

年度内に桜修館に、団体または個人の推薦を依頼。これまでの4回は、桜修館から推薦された受賞候補を授賞から外したケースはない。

⑤ 第3回「八雲が丘ホームカミングデー」の実施

2017年10月の土曜または日曜のめぐろパーシモンホール小ホールを、桜修館より抽選によらず確保してもらおう。

全体の流れは、前2回同様のものとする。

⑥ 特別「八雲が丘ホームカミングデー」(1期～14期対象)の実施

ホームカミングデーは高校卒業50年、25年の期を対象に開催をスタートさせたが、1期～14期はすでに卒業後50年を過ぎていたため、対象外となっている。

これらの期を対象に、別途ホームカミングデーを開催したい。対象となる期が多いため、参加人数の調整をどうするか検討する。

会場は同じめぐろパーシモンホール小ホール、11月の開催を目指し桜修館に会場の予約をお願いする。

⑦ 同窓生による講演会「ようこそ先輩(仮称)」の開催

懸案の講演会企画を今年夏までに実現したい。PTA、桜修館同窓会との共同開催も視野に入れる。学校行事、予定とのすり合わせが必要。

⑧ 八雲が丘学友会の活動と桜修館同窓会との連携

学友会の定期会合はこれまで通り年4～5回の開催とする。旧制府立の卒業生が高齢化しており具体的な活動は望めないが、桜修館同窓会の参加で若年向けの新たな活動ができないか検討する。

また桜修館の現役自治会役員などとの交流も拡大する。

⑨ 会議予定

1月29日 2016年度下期「理事・監事・評議員会議」

3月中旬 拡大常務理事会兼会報編集委員会

6月下旬 2017年度上期「理事・監事・評議員会議」

⑩ 2017年度予算の概算見直し

2017年度は、会費納入会員数を1,500名として会費収入3,000千円を予定し収支トントンを目指す。

安定的に会費収入を確保するため、会員の銀行口座からの自動振替ができるよう検討する。この件は常務理事会に一任とする。

以上